



## = 「1月17日で阪神大震災の発生から30年」

### 巨大地震に対する備えを！ =

数年前に大阪府の公共施設である「津波高潮ステーション」へ行ってきました。その時、あらためて地震を中心とした防災準備がいかに必要かということのを再認識しました。しかし、我々はよほど意識し続けないとその時の危機意識が薄れてしまいがちです。

「阪神大震災」や「東日本大震災」は決して「対岸の火事」ではありません。我々の近辺でも、30年以内に「南海トラフ地震」などの巨大地震がかなりの高確率で発生すると言われてしています。どちらにしても、よほど幸運でない限りは、我々や君たちが生きている間に1度は巨大地震に遭遇してしまう可能性が極めて高いということだけは、皆さんは現実として忘れないでいて下さい。そして、

**「巨大災害は、防災準備の充実により減災することができる。」** ということも覚えておいて下さい。避難訓練の時にもよく言われますが、

**「備えあれば、うれいなし」「災難は忘れた頃にやってくる」**です。

どうか、日頃から真剣に防災について考えて、しっかり行動にうつして下さい。

今一度、防災対策としてせめて **「寝床周辺の落下物の防止」「緊急避  
用袋の準備」「家族での集合場所の確認」**などは各ご家庭でしておいて下さい。

また、災害時には数日間家族等と連絡がつかないケースがほとんどです。そのような場合には

## **「災害用伝言ダイヤル171」**

を活用して下さい。（大きな災害が発生した時のみ利用可です。）

<利用料金> NTT 東日本・NTT 西日本の電話サービスから伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。  
他通信事業者の電話、携帯電話やPHSから発信する場合、各通信事業者にお問い合わせください。

※避難所等に設置する災害時用公衆電話からのご利用は無料となります。